

## 紹介受診重点医療機関検討票（基準×、意向○）

				作成日	令和 6 年 2 月 8 日		
(1)医療機関名	つがる西北五広域連合つがる総合病院						
(2)担当者・連絡先							
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	48.3%			再診基準	22.4%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域	
	4.6%	31.2%	23.3%	7.9%	14.6%	1.9%	
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	57.3%			逆紹介率	81.5%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院 <input type="checkbox"/> 地域医療支援病院						
(7)病 床 数	一般病床	390床			療養病床	0床	
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	当院は圏域における中核病院として、救急・専門医療を集約的に担っているが、外来患者についても当院に集中しているため、患者待ち時間が長く、医師の外来業務負担も厳しい状況となっている。紹介受診重点医療機関として重点外来の基幹的役割を担うことを明確化し、地域医療連携を図ることで、当院の役割・機能を十分に果たしていくため。						
(9)今後、基準を満たす蓋然性 <small>※客観的な根拠を基に、説明してください</small>	初診基準については、既に基準を満たしており、紹介率・逆紹介率についても、参考の水準を満たしているが、再診基準については基準に対し不足している。 今後、検査・処置を伴わない再診の患者については、引き続き逆紹介を推進していくとともに、クリニカルパス等の見直しによる入院患者の術前及び術後検査の外来化を推進していくことで、基準を満たす見込み。 なお、分析ツール「MDVACT」を用いて令和5年4月から9月までの再診基準を推計したところ、27.6%となっており回復傾向にあるため、今後、基準を満たす蓋然性があると考えている。						
(10)基準の達成に向けたスケジュール <small>※欄に収まらない場合は、資料を添付してください</small>	年 月	具体的な取組				基準の状況	
	令和6年2月	非紹介患者初診料・再診加算料定額負担増額				初診：48.3% 再診：22.4%	
	令和6年4月	術前及び術後検査の外来化・逆紹介推進				初診：48.3% 再診：23.0%	
	令和6年6月	術前及び術後検査の外来化・逆紹介推進				初診：48.3% 再診：24.0%	
	令和6年8月	術前及び術後検査の外来化・逆紹介推進				初診：48.3% 再診：25.0%	
(11)協議の場における協議内容及び結論							
(12)結果等							